



利南東



【TONAMIプライド】

じぶんのいいところ ともだちのいいところ・がっこうのいいところ・となみのいいところ

令和4年度学校だより

令和4年11月28日

第14号

校長 大竹 敏之

■ 「人権」について集中的に学んでいます

今年も人権学習週間として、11/24木～12/6火の期間、人権について全校児童が集中的に学習します。人権学習の基盤は「自分や友達、周りの人たちのいいところを見つけ、大切にすること」であり、まさに本校が目指している「TONAMIプライド」そのものです。集中学習のスタートにあたり、11/24木の朝行事にリモート人権集会を実施しました。（※企画委員児童のテキパキとした進行が見事でした）その場ではこんな話をしました。

皆さん、おはようございます。今日から人権学習週間が始まります。「人権」とは、みんなが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。一人一人の違いを認めたり、自分やお友だちの良いところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを知ることがとても大切です。しかし、「人権」にはいろいろな問題があります。集中学習スタートの今日は、みなさんにとって身近な問題である「いじめ」についてお話します。皆さんは「いじめ」という言葉を聞くと、どんなことを思い浮かべますか。仲間はずれや無視、手紙やメールで悪口を言う。相手の気持ちも考えずに、そんなことを言ったりやったりしたことはありませんか。友達に「キモい」とか「消えろ」などと言ったり、わざと避けたりしたことはありませんか。反対に、そういうことを言われたり、されたりしたことはありませんか。今日は「いじめ」について考えてもらうため、1冊の絵本を読みます。松谷みよ子さんの「わたしのいもうと」という絵本です。これは、ある人が作者の松谷さんに手紙で送った「本当の話」が元になっています。では、聞いてください。



< 『わたしのいもうと』 裏面 >

いじめをした人は、ほとんどの人が「ふざけていた」「冗談だった」とか「いじめていたつもりはなかった」と言います。でもね、「いじめ」をされると、しゃべることができなくなったり、御飯が食べられなくなったり、息が苦しくなったり、ついには、このお話のように一番大切な「命」をなくしてしまうこともあるのです。皆さんのまわり、皆さんのクラスには「いじめ」はありませんか。ぜひ、自分自身を振り返り、「いじめ」についてしっかりと考えてほしいと思います。これで校長先生の話が終わります。

これから具体的な取組として、①「人権標語づくり」（各クラスの廊下に掲示）②「よいところさがしの木」（各クラスの廊下に掲示）③「朝のあいさつ運動」（企画委員・各クラス学級委員・職員）を実施します。さっそく、「よいところさがしの木」に「友達



いいところがいっぱいです

のいいところ」の花が咲き始めました。また、11/25金には、人権擁護委員の方々が来校され、1年生に人権のお話をしてくれました。12/2金の朝行事に実施する「人権集会②」で発表される「人権標語」や「よいところさがしの木」の内容が今からとても楽しみです。利南東小学校の子どもたち、心がどんどん育っています！



人権擁護委員のお話
とてもよくわかりました！

わたしのいもうと

この子は
わたしの いもうと
むこうを むいたまま
ふりむいて くれなひのです
いもうとのはなし
きいてください

いまから 七年まえ
わたしたちは この町に
ひっこしてきました
トラックに のせてもらって
ふざけたり はしゃいだり
アイスキャンディを なめたりしながら
いもうとは 小学校四年生でした

けれど てんこうした学校で
あの おそろしい いじめが
はじまりました
ことばが おかしいと わらわれ
とびばこが できないと いじめられ
クラスの はじさらしと ののしられ

くさい ぶたと いわれ
——ちっとも きたない子じゃないのに
いもうとが きゅうしよくを くばると
うけとって くれなひというのです……

とうとう だれひとり
口をきいてくれなくなりました
ひと月たち
ふた月たち
えんそくに いったときも
いもうとは ひとりぼっちでした
やがて いもうとは
学校へ いかなくなりました

ごはんも たべず
口も きかず
いもうとは だまって どこかをみつめ
おいしゃさんの手も ふりはらうのです
でも そのとき
いもうとの からだに
つねられた あぎが たくさんあるのが
わかったのです

いもうとは やせおとろえ
このままでは いのちがもたないと
いわれました
かあさんが ひっしで
かたくむすんだ くちびるに
スープをながしこみ
だきしめて だきしめて
いっしょに ねむり
子もりうたを うたって

ようやく いもうとは
いのちを とりとめました
そして
まい日が ゆっくりと ながれ

いじめた子たちは
中学生になって
セーラーふくで かよいます
ふざけっこしながら
かばんを ふりまわしながら

でも いもうとは
ずうっと へやにとじこもって
本も よみません
おんがくも ききません
だまって どこかを 見ているのです
ふりむいても くれなひのです

そしてまた としつきがたち
いもうとを いじめた子たちは
高校生
まどのそとを とおっていきます
わらいながら おしゃべりしながら……

このごろ
いもうとは おりがみを
おるようになりました
あかいつる あおいつる しろいつる
つるに うずまって
でも やっぱり ふりむいては
くれなひのです
口を きいてくれなひのです

かあさんは なきながら
となりのへやで
つるを おります
つるを おっていると
あの子のこころが
わかるような きがするの……

ああ 私の家は つるの家
わたしは のはらがあるきます
くさはらに すわると
いつのまにか わたしも
つるを おっているのです

ある日 いもうとは
ひっそりと しにました
つるを てのひらにすくって
花といっしょに いれました

いもうとのはなしは
これだけです

わたしを いじめたひとたちは
もう わたしを
わすれて しまった でしょうね
あそびたかったのに
べんきょう したかったのに